

## 「さわふじプラン地域推進委員会」の様子

「第三次西原町男女共同参画計画～さわふじプラン～（案）」の概要の報告と、さわふじプラン地域推進委員の役割を共有するために、意見交換の場を持ちました。

「第三次西原町男女共同参画計画～さわふじプラン～」の効果的な推進を図るためには、広く町民の協力が必要です。

町民の意見を取り入れ、町民同士情報交換ができる場をつくり、男女共同参画の視点を持ったまちづくりを目指して「さわふじプラン地域推進委員会」が設置されています。

また、第三次計画案にも「さわふじプラン地域推進委員会の運営にあたっては、社会状況の変化やニーズの多様化に対応し、広い分野・世代の町民等がネットワークして実現できるよう、本計画推進の過程で創意工夫に努めます」と明記されています。

### 第三次計画案について

✦第三次計画案について、事務局より概要について説明された後、計画推進について、次の意見が出ました。

- ・様々な実態（世代、時代、現場）に合わせた計画の推進体制が必要。
- ・具体的な計画の推進には「地域推進委員」の活動が不可欠。
- ・町民や推進委員同士が情報交換できるかが重要。
- ・地域で啓発ワークショップをしてはどうか。



### 地域推進委員の活動・役割について

✦上記の意見交換を踏まえ、地域推進委員の活動や役割についても意見が出ました。

- ・推進委員が具体的に何をしたいか分かりづらい。
- ・推進委員会の進捗状況をどう広報するか、メディアをうまく活用してはどうか。
- ・これまで、地域推進委員は複数の部会に分かれて活動していたが、全体で一つのテーマに沿って活動すると一人ひとりが生きてうまくいきそう。
- ・時代と共に男女のあるべき姿も変わってきている。世代別に意見交換会を持ちたい。

## 『第三次さわふじプランお便り』

（第三次西原町男女共同参画計画）

～プラン策定の様子をお知らせします～

（2013年3月28日発行）No. 7

### 「お便り」の目的と活用

このお便りは、第三次さわふじプラン策定の様子と概要を、策定に携わっている事業関係者や西原町民に、わかりやすく伝えるための『お便り』です。

このお便りは、平成24年10月から平成25年3月までの期間、毎月1回程度発行されました。

また、これまでのバックナンバーは『西原町ホームページ』にて公開しています。

### お便り第7号（最終号）トピックス

- ✦最終回となった第7回審議会で答申案が協議されました。答申の内容と様子をお知らせします。
- ✦計画推進の重要な委員会として位置付けられている「さわふじプラン地域推進委員会」の会議が開かれました。委員の意見や会議の様子をお知らせします。



▽地域推進委員意見交換会の様子



▽答申の様子



## 第7回審議会

### これまでのまとめと報告

- ❖ これまでの審議をふり返り、第三次計画書案について確認しました。
- ❖ 3月12日に行われた「さわふじプラン地域推進委員会」の概要について報告されました。

### 答申について

- ❖ 大城貴代子審議会会長が作成した答申案をプロジェクタースクリーンで確認しながらその場で意見をとり、修正しました。
- ❖ 第7回審議会終了後、引き続き町長室にて「第三次男女共同参画計画（案）」について答申しました。  
※次ページに答申内容を掲載しています。

▽答申案をプロジェクタースクリーンで協議している様子



## 第三次計画策定を終えて～（審議委員の声を紹介します）

基礎講座及びワークショップの開催や策定の経過を知らせるお便りの発行等計画をつくる過程が大切にされていた。

推進条例の制定に引き続き第三次行動計画の策定、大変お疲れ様でした。

西原町が真の男女共同参画社会として発展することを祈念しています。

西原町男女共同参画審議会の委員として関わることが出来て、色々な事を学びました。基本的な単語の意味から専門的な世の中の問題など知ることができました。

この学びを今後につなぎ、さらに学んで活かしたいです。

男女混合名簿については、町内で終わらせることなく、町外に発信してもらいたい。

この審議会は県内でもトップクラスの有識者2名の他、町内各団体、公選委員が参加し、8回にわたり会議が開かれた。とても熱心な会議だったと思う。



第一次計画策定から20年。町民が計画を評価するべき段階にきていると感じた。

この計画が実りあるものになるためには、担当人員増の配慮が必要だと思う。

次世代につなげる転換期にきており、政策として力を入れる必要がある。

審議会に初めて参加し、毎回気をぬくことなく勉強させて頂きありがとうございました。

この計画を広く町民に伝えていくために、これからも男女共同参画に関する広報活動をがんばります。

町行政区自治会長から委員として参加した。自治会の活動で、男女共同参画社会の状況を見てみると、60代以上の世代と30～40代の世代では認識が違う。

若い世代ほど、男女共同の意識が広まっている。自治会活動でも、工夫して取り組めるのではないかなと思う。

## 審議会から町長への答申

平成24年10月5日付けで町長から審議会への諮問（第三次西原町男女共同参画計画策定について）について、平成25年3月26日に答申された内容です。

### 「第三次西原町男女共同参画計画（案）」について

#### 答 申

西原町におかれましては、第二次男女共同参画計画に沿って町民の意識啓発に努力され、学校における混合名簿の実践や推進条例の制定など県内市町村の中でも「男女共同参画推進指数」がトップレベルを維持していることは高く評価し、感謝を申し上げます。

さて、第三次西原町男女共同参画計画～さわふじプランへの策定にあたっては、審議会や庁内推進本部との意見交換会など8回に亘りこの間の実績を検証いたしましたところ、達成したもの、未達成のもの、そのほか着手されていないもの等も見られます。

また、推進条例は制定されたものの、町民・事業者・教育関係者・各種団体等への浸透や推進組織の連携が弱く、また、日常の活動の中で町民への意識が十分に浸透されているか疑問が残るところであり、推進体制等にはなお一層の努力が必要と史料されます。

そこで、審議会としては、今後10年間で取り組んでほしい7つの基本理念、16の施策の柱、32の具体的施策等を別添のとおり「第三次西原町男女共同参画推進計画（案）」をまとめ、下記の意見を附して答申いたします。

つきましては、この計画案に沿って、西原町の男女共同参画のまちづくりを推進されますことを切望いたします。

#### 記

1. 重要課題、重点施策の実現
1. 具体的施策における数値目標の設定
1. 推進体制の強化を図るため、担当部署と「さわふじプラン地域推進委員会」の充実
1. 推進条例の目的達成に向けた、広報啓発（フェスティバル等のイベント）事業実施
1. 高校・大学等との連携による男女平等教育（混合名簿等の拡充）の推進
1. 男女共同参画推進の活動拠点の早期整備
1. 具体的施策の実現に向けた財政の確保